

令和 7 年 7 月 23 日

【照会先】

健康・生活衛生局 感染症対策部
感染症対策課 エイズ/結核対策推進室長
小谷聡司（内 2373）
感染症対策課 感染症情報管理室長
大塚和子（内 2389）
予防接種課 課長補佐 松下 詢（内 2030）

（代表番号）03-5253-1111

報道関係者 各位

麻しん・風しんの現状と対策に関する記者勉強会のお知らせ

麻しんは 2015 年に世界保健機関西太平洋地域事務局から排除認定を受け、現在のところ継続しておりますが、世界各国と同様に、輸入事例を契機とした麻しん事例の報告等が 2023 年から増加しております。海外渡航者、訪日外客が増加する夏期に備え、また開催中の大阪・関西万博での対策も踏まえ、麻しんの現在の発生状況と対策について、この機会に広く周知させていただければと考えております。

風しんは 2018 年～2019 年に大きな流行があり、風しんの感染拡大防止のために 2019 年に「風しんの追加的対策」事業を開始し、2025 年 3 月末に終了致しました。対象世代の抗体保有率は上昇している中で、風しんの現在の発生状況と対策について、改めて周知させていただきたいと考えております。

つきましては、日々報道に携わる記者の方々に、麻しん・風しんの現状について理解を深めていただくため、記者勉強会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

記

開催日時：令和 7 年 7 月 31 日(木) 15:30 ～ 16:30 (質疑応答込み)

開催方法：ZOOM を使用した Web 方式で実施

留意事項：勉強会に参加をご希望の方は 7 月 28 日(月) 15:00 までに所属会社（媒体名）、参加者氏名及び連絡先（電話番号）を明記の上、＜申込先＞までお申し込みください。

※お申し込みは報道関係者の方に限らせて頂きます。

・WEB 会議の URL、資料は勉強会開催時刻までにメールにてご連絡いたします。

＜申込先＞ 感染症対策課 広報担当 mail：kansensho-koho@mhlw.go.jp

目次：

15:30-15:35	本日の記者勉強会の目的について	厚生労働省 感染症対策課 エイズ/結核対策推進室長 小谷聡司
15:35-15:50	麻しんの現状について	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症サーベイランス研究部/ 応用疫学研究センター主任研究官 小林祐介 氏
15:50-16:05	風しんの現状について	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 予防接種研究部 第一室長 高梨さやか 氏
16:05-16:15	麻しん・風しんの対策について	厚生労働省 感染症対策課 小谷聡司 予防接種課 松下 詢
16:15-16:30	質疑応答	

以上